

## 採択結果

## 令和3年度使用中学校用教科用図書推薦一覧

種 目	発行者番号	発 行 社 名	教 科 書 名	備考
国語(国語)	2	東京書籍株式会社	新しい国語1～3	
国語(書写)	38	光村図書出版株式会社	中学書写一・二・三年	
社会(地理的分野)	46	株式会社帝国書院	社会科 中学生の地理	
社会(歴史的分野)	2	東京書籍株式会社	新しい社会 歴史	
社会(公民的分野)	2	東京書籍株式会社	新しい社会 公民	
地図	46	株式会社帝国書院	中学校社会科地図	
数学	2	東京書籍株式会社	新しい数学1～3	
理科	2	東京書籍株式会社	新しい科学1～3	
音楽(一般)	27	株式会社教育芸術社	中学生の音楽1、2・3上下	
音楽(器楽合奏)	27	株式会社教育芸術社	中学生の器楽	
美術	116	日本文教出版株式会社	美術1、2・3上下	
保健体育	2	東京書籍株式会社	新しい保健体育	
技術・家庭(技術分野)	9	開隆堂出版株式会社	技術・家庭 技術分野	
技術・家庭(家庭分野)	9	開隆堂出版株式会社	技術・家庭 家庭分野	
英語	9	開隆堂出版株式会社	SUNSHINE ENGLISH COURSE 1～3	
道徳	2	東京書籍株式会社	新しい道徳	

## 推薦理由

学習指導要領の趣旨を生かした教科書であり、当地区の生徒に最も適した教科用図書を使用させるという観点から、上記の教科書を推薦したい。

各教科の種目教科書の具体的な理由は次のとおりである。

種 目	推 薦 理 由
国語(国語)	<p>① 単元構成に統一性や連続性があり、まず「読むこと」領域で身に付けた言語の力を、「話すこと」「聞くこと」「書くこと」のそれぞれの領域で応用できるように配慮されている。それにより、実践力を伴った国語の力が育成できるよう配慮がなされている。巻末の「学びを支える言葉の力」には言語活動例が豊富に示され、多様にして日常性を伴った活動へと学習を広げられるような工夫がなされている。</p> <p>② 紙面づくりに「親しみやすさ」が重視されており、写真・図表・イラスト等と文章とのバランスが取れているため、学習者にとって聞きたくなる、読みたくなるようなデザイン性に秀でている。また、ページの上段と下段に配する内容が、上段に説明や解説を、下段には具体例を置くなど、いずれの単元でも共通性があり、学習者にとって必要な情報を見つけやすくなっている。</p> <p>③ 「学びの扉」で学びの目標が示され、教材文の導入に配された「問いかけ」から、教材文の後の「てびき」まで、一貫性のある読みの視点に沿って学習を進めることが出来るよう工夫されている。また、「言葉の力」、「振り返り」など、学習を深めるためのヒントも用意されており、学習者の主体的な学びを保証するための配慮がある。</p>
国語(書写)	<p>① 教材ごとに目標と振り返りがわかりやすく配置されている。「学習の窓」で学習するポイントが明示されており、見通しをもって学習でき、基礎的・基本的な知識や技能が習得できるような構成になっている。</p> <p>② 「考えよう」「確かめよう」「生かそう」という学習の流れによって、生徒が主体的に考え、学習に臨むことができるよう配慮されている。また、文字の原理原則を考える教材や、毛筆の筆遣いが分かりやすい図版が見やすいよう工夫されている。</p> <p>③ 巻頭の「書写ブック」により、毛筆で習得した技能が定着できるよう、硬筆でも繰り返し練習できるようになっている。巻末の「日常に役立つ書式」「中学生のための漢字字典」など、学習したことが国語や学校生活、日常生活に生かされるような教材や資料が充実している。</p>
社 会 (地理的分野)	<p>① 「異文化理解・国土理解から深い学びにつながる」ことを柱として地理的分野の目標を十分達成できる教科書である。本教科書編集の基本姿勢が明確</p>

	<p>に示されていて、「世界の地域理解から異文化理解を深める」「日本の地域理解から国土理解を深める」という考えをベースに、人々の営みにスポットをあて、各地域の独自の文化を多面的にとらえさせようという意図をもって構成し、文章を作成、資料を選択している。それにより、学習指導要領における地理的分野の目標を達成しようとする軸をしっかりとった教科書作りをしている。</p> <p>② 章（節）を通した学習展開が強く意識された教科書である。章（節）の学習課題が明確に示され、単位時間ごとに解決した内容をもとに、最後に知識・技能面の確認はもとより、思考力・判断力・表現力を高められるようなステップを踏んだまとめができるようになっている。学習課題を「〇〇はどのような影響を与えているだろう。」という形にし、「なぜ、そうなっているか」を解明したうえで、「それがどのような影響を与えるか」等を考えさせ、持続可能な社会に向けて発展的に考えさせるという思考が深まる構成になっている。</p> <p>③ 大きさ、色合い、配置、種類等が工夫され、学習内容の理解に結びつく資料、地図を用いた教科書である。用途によりそれに応じた地図が掲載されたり、地図、写真、グラフ等の資料が適切に組み合わせられて掲載されたりして、資料を活用して主体的に学習が進められるように工夫されている。また、地域の様子や人々の営みがわかるようにすることを意識した写真を掲載していて、興味関心が高まるように工夫されている。</p>
<p>社 会 (歴史的分野)</p>	<p>① 単元のまとまりを重視した誌面構成になっている。単元を通して「問い」を軸に課題解決的な学習ができるようになっており、学習を通じて基礎的・基本的な知識および技能の習得、思考力・判断力・表現力等を育むことができる。</p> <p>② 本時のまとめに要約を行う場面や章末までの思考ツールを用いてまとめを行う場面の設定により、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。また、小集団の協働的な活動を行う場面や見方・考え方を働かせる活動を示すことで、見通しをもって主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>③ 各単元の時数がバランスよく配分され、配当時数内で履修できるよう適切に配分されている。また、文章表現については、事象をとらえやすく因果関係が分かりやすいように平易な文章で記述されている。さらに、ICT 機器をつかって他分野や他教科との関連を図れるように工夫されている。</p>
<p>社 会 (公民的分野)</p>	<p>① 各章の初めに、章全体を貫く「探求課題」が示されており、興味・関心をもって学習を進めることができるような構成となっている。さらに、章の最後の「ま</p>

	<p>とめの活動」では、導入で学習した内容と関連付けられていて、発展的な内容を考察しつつ、学習内容を振り返ることができるようになっている。</p> <p>② 「スキル・アップ」などのコーナーが設けられ、資料を読み取って考察することで、現代社会で起きている問題を自分事としてとらえ、主体的に学習に取り組もうとする意欲を喚起できるように工夫されている。</p> <p>③ 地理や歴史で学習した内容や他資料と関連している内容などが共通のマークで示され、一目で分かるように表記されている。そのため、現在使用している教科書よりも分野や他教科と関連付けて学習しやすいように配慮されている。</p>
地 図	<p>① 大判化の紙面を生かし、鳥瞰図や衛生画像等を豊富に掲載し、より視覚的に地域の特色を捉えることができるように配慮されている。また、地図や資料の配色やフォントが工夫されており、見やすく分かりやすくなるように配慮されている。</p> <p>② QRコードを使用することによって、関連する資料やコンテンツへと学びの場を広げることができ、主体的に意欲をもって学習活動を行うことができるよう配慮されている。</p> <p>③ 「地図活用」として社会的な見方・考え方を働かせる「問い」を要所に示すことにより、資料活用能力を高め、思考力・判断力・表現力等を育むよう工夫されている。</p>
数 学	<p>① 節の導入や「深い学びのページ」などで数学の問題発見・解決の過程を重視した数学的活動を取り上げ、毎時間の学びを通して思考力・判断力・表現力等に身に付けられるよう配慮されている。</p> <p>② 章の問題Bを2ページ構成とすることで、活用、発展・統合の問題を充実させており、ひとりひとりの習熟に応じた学びが保障できるよう配慮されている。</p> <p>③ 単元を通してひとつの題材を貫かれており、問題解決に必然性を持たせながら、連続性のある学びを通して生徒が意欲的に問題解決できるよう構成されている。</p>
理 科	<p>① 「学んだことをチェックしよう」「学習内容の整理」「確かめと応用」により、基礎・基本の習得と既習事項の復習ができるように配慮されている。</p> <p>② 実際には行うことが難しい実験や観察等をQRコード教材としており、生徒がより高い興味関心をもつことができるように工夫されている。</p> <p>③ A4スリム判にすることで、観察・実験の手順を、上から下への視線の流れに沿って、分かりやすく示す工夫がされている。</p>
音楽(一般)	<p>① 「学習内容」には、学習指導要領に示された三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が簡潔にまとめられている。生徒が各教材を通してどのような音楽の力を付けられるのか確認できるよう配慮されている。また、音楽を形</p>

	<p>づくっている要素について、教材との関連を図りながらまとめられており、学習したことを振り返ることができるよう工夫されている。</p> <p>② 写真が大きく鮮明であり、見やすくなるように配慮されている。写真だけでは理解が難しい日本の伝統音楽などについては、図を用いたり、写真に説明を加えたりして分かりやすく提示するよう配慮されている。</p> <p>③ 教科書の手順に沿って学習を進めたり吹き出しからヒントを得たりしながら、主体的・相対的で深い学びが実現できるよう配慮されている。また、直接書き込みができ、言語活動の充実を図ることができるよう配慮されている。</p>
音楽(器楽)	<p>① 取り上げられている楽器が豊富であり、基礎的な技能取得から発展的合奏まで、生徒の実態等に応じて学習を展開できるよう配慮されている。また、様々な打楽器の奏法について、写真に説明を加えることで分かりやすく提示するよう配慮されている。</p> <p>② 「学習内容」には、学習指導要領に示された三つの資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が簡潔にまとめられている。生徒が各教材を通してどのような音楽の力をつけられるのか確認できるよう配慮されている。</p> <p>③ 日本音楽の楽器の取扱い充実しており、楽器についての説明のだけでなく、演奏家からのメッセージを掲載することにより、多面的に学ぶことができるよう配慮されている。</p>
美術	<p>① 発達段階に応じた3分冊になっており、各巻ごとのオリエンテーションや振り返りにより、成長に合わせた学びを実感できるように配慮されている。</p> <p>② 地域の世界遺産や伝統工芸など伝統文化への関心を高めたり、震災復興に関連する作品を紹介したりするなど、防災・復興等地域の実情にも配慮されている。</p> <p>③ 資質・能力の三つの柱に基づいた「学びの目標」により、主体的に学び、振り返りができるよう配慮されている。</p>
保健体育	<p>① 重要語句を絞り込み学習内容を焦点化することで、基礎・基本の定着が確実に行われるように配慮されている。</p> <p>② 見通し⇒課題解決⇒振り返りといった「いわての授業づくり3つの視点」をより組み立てやすく、かつ意識しながら授業を進めることのできる紙面構成となっている。</p> <p>③ 課題を想起し学習に取り組みやすい工夫がなされていると同時に、文字や資料等の提示のバランスが優れており、基礎・基本の定着を図りつつ、「主体的・対話的で深い学び」につなげることができる配慮がなされている。</p>
技術	<p>① 導入のページの作りが、投げかけるような問いかけで問題意識を喚起させられる。また、「まとめ」の課題が、分量、記述のポイントが明確である。</p> <p>② 関連する他教科の単元名、小学校の履修学年と単元名が表記され教科横断的な学習についてわかりやすい。資料も、防災教育、キャリア教育、伝統文化教育</p>

	<p>との関連も図られているなど工夫されている。</p> <p>③ ポイントをおさえた、イラストや図が記載されている。また、専門用語が分かりやすいように太字で強調、キャラクターを使いセリフにより課題や思考のきっかけが示されている。</p>
家庭	<p>① 導入ページの作りが投げかけるような問いかけになっていて問題意識を喚起させられる。また、「まとめ」の課題も分量、記述のポイントが明確である。</p> <p>② 生徒の思考が自然に流れていく配列になっていて、生徒が学習に取り組みやすい工夫がなされている。</p> <p>③ 「食」のところの栄養について、栄養素のイラスト、イラストそのものがポイントを示してしるなど、資料が厳選されている。</p>
英語	<p>① 様々な場面で基礎的な語彙や表現を導入し、それを用いながら即興性と正確性、そして思考力・判断力・表現力を育成するように工夫されている。</p> <p>② 統合的に技能を育成できる教科書の構成になっている。また、定着を高めるために習得、思考、表現の流れが組まれており、学習者が見通しを持って主体的に学習に取り込めるようになっている。</p> <p>③ 教科書の内容が小学校外国語との接続に配慮されており、場面設定をイラストで表現するなど、使用場面が視覚的にも理解できるようになっており、活動を通し、新出表現を学んでいく工夫がされている。</p>
道徳	<p>① 見開きのページに「話し合いの手引き」を配慮することにより、どの教材のページに開いている状態でも手引きのページを確認でき、言語活動を円滑に行う工夫がなされている。また、オリエンテーションにおいて、授業の流れを示すことにより、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</p> <p>② ホワイトボードや心情円などを付録としてつけていることで、互いに意見を交流し合いながら問題解決する学習活動の展開でき、多面的・多角的な見方を育成しながら、生徒の表現を補助する工夫がされている。</p> <p>③ 全学年で共通のユニットを位置付け、継続的に考えさせることで、他学年とのつながりをもった学習ができるよう配慮されている。また、教材冒頭にテーマを示し、どの教材でどの内容項目を学ぶかが示されている。</p>